

平成19年度 事務事業評価表

所属 21100000

都市整備部 街づ調整課

事務事業	124007 水辺のネットワーク事業基本構想策定委託（桜づつみ復活事業）					
	事業区分	経常事業	施策体系	1240	水辺	
区分	評価者	所管課長	存廃判断	可	NPO協働	可
	***		***		***	
対象	区内在住者及び区内に通勤・通学で訪れる方					
事務事業意図	中川沿いに水の拠点をつなぐ散策路を整備し、楽しく水辺を散策できるようにする。 江戸川、中川に昔あった桜づつみを復活し、区民の憩いの場を創出する。					
事務事業手段	水辺をつなぐ散策路は、区の地理的な骨格を成す河川空間を活かし、区民が、更に水辺に親しむための環境を創出することを目的に、中川の堤防天端の未利用部分を活用し、区民が散策やサイクリングなどを行える憩いの空間をつくる。桜づつみの復活は、戦後の一時期まで江戸川、中川沿いに桜の名所があったが、護岸整備などにより面影はなくなってしまった。近年、桜の復活を望む声が高まり、青戸地域では、桜づつみモデル事業が平成13年4月に国土交通省から認定され、桜の復活に取組んでいる。江戸川は、基本構想に基づいて、堤防の影響等の確認を行い、国土交通省と協議し、桜の復活に取組んでいく。					
根拠法令	河川法					
現状と課題	中川の飯塚橋以北の散策路整備予定箇所については、以前より、堤防道路における安全対策の要望が強い。国土交通省との協議では、（仮称）西水元公園の反対にある民地側に歩道上空間の設置について了承を得た。今後、年次計画や財政計画について見直す必要がある。桜の植樹についても河川管理者である国土交通省と調整が必要である。					
成果・活動指標	成果指標 1 散策路整備延長（累計） 成果指標 2 桜づつみ整備延長（累計）					
目標達成状況			平成17年度	平成18年度	平成19年度	
	成果指標 1 [m]	予定	0.00	500.00	750.00	
		実績	0.00	290.00		
	成果指標 2 [m]	予定	0.00	260.00	510.00	
		実績	260.00	260.00		
	活動指標 1 []	予定				
		実績				
	活動指標 2 []	予定				
		実績				
	トータルコスト (千円)	予定	0	4,935	1,395	
実績		13,130	4,000			
総合評価	再構築。都市計画マスタープランに掲げる緑・オープンスペースの形成と魅力ある川への整備方針を実現するには、中川などの河川を生かした区の文化や風土を尊重した、安全で親しみのある水辺空間の形成に取り組んでいくことが重要である。今後、事業については、道路緑化事業、道路橋梁改良事業に統合し、事業の進行管理のみの評価を行う。					
事業評価	事業の必要性	はい。河川軸の形成は、美しい街並みの演出、区民の集う場所、動植物の生息・生育の拠り所、災害時の避難など、区民にとって重要な役割を担っており、水辺のネットワーク事業の必要性は高い。				
	民間活用	実施済。河川区域内での事業であることから、民間事業者が主体となって推進することは困難である。しかしながら、管理運営については、民間活用の可能性もあることから、引き続き、国土交通省との協議を進める。				
	成果向上余地	どちらとも言えない。河川区域内の事業であることから、河川管理者との地道な協議に基づき事業を進めることが重要である。しかしながら、完成後の管理運営面では、地域との連携を図ることにより、整備効果を高めることは可能である。				
	経費削減余地	あまりない。水辺のネットワーク事業の実現には、安全な水辺環境の形成や交通安全対策等をあわせて実施する必要があるため、これらの実施に必要な経費を計上しなければならない。				

コスト分析表

年 度 平成19年度

所 属 21100000

事務事業 124007

都市整備部 街づ調整課

水辺のネットワーク事業基本構想策定委託（桜づつみ復活事業）

事業期間 平成17年度 ~ 平成19年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0		
		都道府県支出金	(2)	0	0	0		
		地方債	(3)	0	0	0		
		その他	(4)	0	0	0		
		一般財源	(5)	0	4,755	1,290		
	直接費	事業費	(6)	0	3,015	0		
	職員人件費	人件費	(7)	0	1,740	1,290		
		再雇用職員分	(8)	0	0	0		
		(職員数：賦課)	(9)	0.00	0.20	0.15		
		(職員数：配賦)	(10)	0.00	0.00	0.00		
		職員数合計(9)+(10)	(11)	0.00	0.20	0.15		
	間接費	(12)	0	0	0			
	調整額	(加算)減価償却費	(13)	0	0	0		
		(加算)金利	(14)	0	0	0		
		(加算)退職給与引当	(15)	0	180	105		
		(控除)コスト対象外	(16)	0	0	0		
		(控除)雑収入	(17)	0	0	0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)	0	180	105			
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)	0	4,935	1,395			
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0	0			
		都道府県支出金	(21)	0	0			
		地方債	(22)	0	0			
		その他	(23)	0	0			
		一般財源	(24)	12,770	3,860			
	直接費	事業費	(25)	9,450	2,200			
	職員人件費	人件費	(26)	3,320	1,660			
		再雇用職員分	(27)	0	0			
		(職員数：賦課)	(28)	0.40	0.20			
		(職員数：配賦)	(29)					
		職員数合計(28)+(29)	(30)	0.40	0.20			
	間接費	(31)	0	0				
	調整額	(加算)減価償却費	(32)	0	0			
		(加算)金利	(33)	0	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	360	140			
		(控除)コスト対象外	(35)	0	0			
		(控除)雑収入	(36)	0	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	360	140				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	13,130	4,000				